

学位論文の要旨

三 重 大 学

所 属	甲 三重大学大学院医学系研究科 生命医科学専攻 臨床医学系講座 循環器・腎臓内科学分野	氏 名	いしやま まさき 石山 将希
-----	---	-----	-------------------

主論文の題名

Impact of Helicopter Transport on Reperfusion Times and Long-Term Outcomes in Acute Myocardial Infarction Patients in Rural Areas: A Report From the Mie Acute Coronary Syndrome Registry

主論文の要旨

急性心筋梗塞における再灌流療法は、患者の予後を改善するために可及的すみやかに行われる必要がある。ヘリコプターによる救急搬送サービス (Helicopter Emergency Medical Service、以下HEMS) の有効性は、本邦において脳卒中や外傷において報告されているが、急性心筋梗塞患者のヘリコプター搬送に関する予後データは報告されていない。

我々は、2013年1月から2017年12月の間に三重ACSレジストリー (Mie Acute Coronary Syndrome Registry) に前向きに登録された2681人の急性心筋梗塞に対してカテーテルによる再灌流療法を施行された患者のうち、HEMSまたは救急車を用いた陸路搬送による救急医療サービス (Ground Emergency Medical Service、以下GEMS) を使用して過疎地域からヘリコプター基地病院に搬送された163人の患者を検討した。さらにPCIを施行された病院まで直接搬送された直接搬送群 (Direct群)、転院搬送を要した群 (Inter-hospital群) に分類をした (Direct-HEMS : n= 52、Direct-GEMS : n= 54、Inter-hospital-HEMS : n= 32、Inter-hospital-GEMS : n= 25)。主要評価項目は、救急覚知時間から再灌流までの所要時間とした。副次評価項目は、2年間の主要心血管イベントおよび入院加療を要した脳血管障害 (Major Adverse cardiac or cerebrovascular event、以下MACCE) とした。

Direct-HEMS群はDirect-GEMS群よりも有意に年齢が若く ($p=0.029$)、救急覚知時間から再灌流までの所要時間は、Direct-HEMS群およびInter-hospital-HEMS群の方が各GEMS群よりも有意に短かった ($p=0.015$ および $p=0.046$)。2年間のMACCEの発生率は、Direct、Inter-hospital群ともにGEMS群よりも両方のHEMS群で低い傾向がみられた。

本研究はヘリコプターによる搬送は三重県の過疎地域における急性心筋梗塞患者の再灌流までの時間を短縮することを示し、予後の改善につながる可能性を示唆した。